

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2011年10月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2011年10月10日発行 通巻222号(毎月1回発行)

秋・紅葉の山行を



無事故で楽しもう

10月号 目次

10月号目次		2
私の一名山 北鎌尾根	戸塚 民生	3
花博士の花たより (彼岸花)	中原 紀代治	5
小さな山も大切に	外山 健太	6
県連盟代表者会議参加報告	安彦 秀夫	7
リレー・エッセイ	桑原 年一	10
全国ハイキング交流集会参加報告	桑原 年一	12
ハイキング委員会報告	ハイキング委員長	14
房総ロングハイキング案内	ハイキング委員会	15
事故防止経験交流集会案内	教遭委員会	17
ワンコイン講習会案内	女性委員会	18
大震災支援活動報告	吉田理事長	19
県連たより		21
県連活動予定 (10月11月)		22

表紙説明

表紙のイラストは、労山のアップールの「拡大ガイド」の表紙です。会員拡大の時に、労山とは？ そのおいたちは？ 何をやっているの？ などをお知らせするものです。

中には、全加盟会の紹介・会の特徴・入会連絡先などが記載されています。

「拡大ガイド」には、地域の会を集めた地域版、1会だけ紹介した限定版があります。ぜひ利用してください。

イラストは、かがりび山の会「石井 次男」さんの力作です。東日本大震災支援Tシャツ「岩手山」も石井さんのイラストです。

私の一名山 北鎌尾根

茂原道標山の会

戸塚 民男

平成18年は槍づいている年で、1月・5月に続いて3回目、北鎌は平成元年の北鎌沢右俣からに次いで2回目で、P2から槍を目指すこととした。

8月23日勤務を終え電車に乗り込み、特急、新幹線を乗り次いで午前零時21分松本駅に到着し通路で仮眠。

24日始発の大糸線で信濃大町駅に行き、タクシーで高瀬ダムまで入る。湯俣を通り水俣出会のつり橋を渡り、水俣川の遡行もっぱら河原歩きで直ぐ沢足袋に履き替え、天上沢に入り注意していくと、登り口目印の赤布を見つめることが出来た。山側に入り込みP2登り口のテント場に到着。18時就眠。

25日水4Lを汲み5時出発、P2、P3と進む、踏み跡は無くなり所々草木で覆われているがP4に順調に着いた。それも束の間P5直前で天上沢側の獣道に迷い込んで2時間のロス、P5の10mの懸垂下降、それに続くガレ場のトラバースは難なく通過、急峻な大岩を10m程登った所で『犬に追われた猫が木の頂に昇過ぎて身動き出来なくなる』状態になった。ハーケンが2枚あり、カラビナとシュリングが下がっている。私と同様な慌て者のために『親切な人が、このような脱出装置を準備して置いてくれたもの』と痛く感謝し懸垂で降りた。鹿窓に似た岩をくぐり千丈沢側に回り込むとハーケン2枚に古いシュリングが付いていて、一本追加し登坂ルートをファインディングするも全く検討がつかない。新月で6時行動終了する。P5の山頂は大小の尖った石がごろごろしている傾斜地ながらテント1張り可能なスペースが有り、昨夜にぎったおにぎりを食べ、頭を頂上側にして7時15分就眠。

26日3時45分起床、1個100カロリーのドーナツ3個を摂る。水残り3L、5時行動開始、6時昨日行き詰まった地点を經由して登坂するラインをようやく発見する。空身で上り、懸垂で降りて、ザックを背負って登り返す、下は切れて致命的な滑落の危険はあるが、ザイルを回し込んで右から反対側の小さいテラスに回り込んだ。ハーケンが2枚ありザックを確保し、シュリングを通してロープを結んで、先端をハーネスに付けた。ここからが核心部で、遙か下まで切れ落ちている岩間を跨いで急峻な岩に取りついた。1枚のハーケンが打ち込んである、ビレーを取り斜め右上へと登り、少しオオバーハングしている岩を抱えて押さえ込みながら登りきって灌木に辿りついた。二本の灌木にアンカーを取りロープを15m張った。

テラスに戻り、ザックを背負い、ロープの末端をハーネスに結び、再び核心部を8時に登りきった。真っ直ぐ上に登り15分でP6の頂上に着いた。木立で覆われコンパスが指す南方向は樹高1mの這松に覆われ道は見当たらない。天上沢側に降りて視るが勾配が急になり引き返し、這松の上をバランスを取りながら50m進んで視るが道はない。千丈沢側にも降りて視るが見つからない。11時元の灌木のアンカーの地点に戻ってみる。上に登る以外に道ない。再び頂上に着き8分寝て、コンパスの示す方向で決断する。11時40分這松の上を進み、終わると道が見つかりP7に12時30分着くことが出来た。木の実で水分を補給しながら歩いて17時20分北鎌沢左又のコルに到着した。テント場サイドには大ボス猿が胡坐をかいてスカンポをかじって水分補給をしていたが、ほどなくしてスゴスゴと林へ引き挙げて行ってしまった。夕食の準備に掛かると入山してから始めて人声が聞こえて、北鎌沢から男女5人のグループが登って来た。ビールを飲み、水をふんだんに使っている。1個100カロリーの切り餅を焼いて磯部巻きにして3個摂る。7時30分就眠。

27日3時50分起床、ラーメンは中止し切り餅3個の朝食を摂る。水残り0.8L、4時50分出発、中1泊の予定が既に中2泊、水が少なくこれ以上遅れは許されない。千丈沢側を巻くコースで槍が見え隠れし、ガレ場のトラバースルートもしっかりしていて、独標のチムニーはハーケンにシュリングが下がっている。槍の穂先へは赤ペンキの○で導かれ、チムニーにはシュリングが下がっている、程なくして祠の裏側へ3時05分に出てあっけない幕切れとなった。頂上には多くの登山者が居て拍手で迎えてくれた。残り50CCの水を飲み干した。山荘で水を4L買って飲み、ラーメンの夕食を摂り7時就眠。

28日5時25分小雨の中を出発、雨も止んで7時45分槍平に着いた。冬季避難小屋の入り口は木製階段を3m登って付けてある。山麓を取りながら12時新穂高温泉に到着、バス停前の無料の温泉で何時もながらゆっくり疲れを取った。バスで松本駅に出て、駅前の老舗の蕎麦屋で盛りそば食べ、あずさ32号千葉駅行きに乗り、大網駅に21時30分到着し帰宅した。

ルートファインディングの難しい山行で予備日を使ったため水が不足したが、安全に完遂出来た事は、なりよりも嬉しい。岩場の安全を厳しく教えてくれた、先輩諸氏に大感謝である。

23. 9. 08

花博士の花便り

ふわくハイキングサークル

中原 紀代治

ヒガンバナ (曼珠紗華)

暑さ寒さも彼岸まで、暑かった夏も、台風とともにようやく涼しさが見えました。9月19日に近くの、金剛地の熊野大神にヒガンバナを観に行きました。今年のヒガンバナの開花は、少し遅い様でしたが1000本以上咲いていました。

関東では、埼玉の巾着田が有名です、200万本も咲くと凄いですね。

千葉中央博物館の詳しい人の話によると、日本に存在するヒガンバナは、すべて遺伝子的に同一であり、雌の株だけと言う。

雌株だけで種が出来ないから、中国から1株の球根から日本の各地に株分けの形で、赤いヒガンバナが広まったと考えられている。

同日に、稲毛の花の美術館に咲いていた、白花のヒガンバナ(白花曼珠紗華)は類縁種のナツズイセンとの交配種と考えられ、リコレスやアルビフローラと交配した、クリーム色やピンク・オレンジ色の花もあり、園芸種として、人気の高い花です。

8月の中旬から咲くキツネノカミソリ、も同じ種類です。

「葉は花を見ず花は葉を見ず」と言われる様に、花が咲く時は、葉が無く花の後に葉が出ます。ヒガンバナが増えた理由に、全草が有毒な多年性の球根植物で畦に穴を開ける、モグラやネズミに嫌われるため(ミミズが嫌いでいなくなる)、田圃の畦に植えて全国に広まったとのこと。又、球根は有毒ながらデンプンが多く、飢きんの時に水に曝して飢えをしのいだと言う話も有ります。



彼岸花は、雌の株だけです？



白い彼岸花・最近は黄色も見ます

小さな山も大切に

千葉こまくさハイキングクラブ
自然保護委員 外山健太

【日時】2011年6月18日(土)

【参加者】L 外山健太、以下8名

【コース】奥多摩駅9:30-むかし道入口9:40-槐休憩所10:00-白髭神社10:50-惣岳溪谷11:00-しだくら吊り橋11:20-西久保見晴らし広場12:15/30昼食-馬の水場12:45-水と緑のふれあい館13:45-奥多摩湖半バス14:20-奥多摩駅解散

この時期天候の判断難しく、前日迄迷いました。幸い当日朝出発時日がさしており何とかもつのではないかと思いつながら奥多摩駅、霧雨の中傘をさしながら平坦な舗装道路を歩きましたが梅雨時傘は必需品と先輩が後輩に教えていました。自分自身も入会間もない頃先輩からジーンズのズボンで登山した時、注意された経験を思い出されました。こんな交流が今後の登山に活かされるのではないかと思いました。

歩き始めてまもなく雨も上がり熱くも無く快適な登山日和となりました。平坦な道の中にも旧青梅街道を思い出させる神社や石仏など又吊り橋より見渡す溪谷の自然美、霧にかかった水墨風景を楽しみ、最後1時間余りの登山、最終下山時、私達一行を裾野一面いっぱいシギタリスの花が迎えてくれました。また秋の紅葉も期待できそうです、次回の楽しみが増えました。

千葉こまくさハイキングクラブの山行Aランクの一例を紹介しました。最近登山に関心を持つ人が多いが、いざ友人や昔の会社の仲間などに登山を勧めると即この歳で体力無く無理との返答が帰ってくる。無論アルプスなど高い山をイメージしている。私と登山の出会いは4年前の長岡花火見学時、偶然隣にこまくさハイキングクラブの一行とご一緒させて頂き花暦のコースもあると説明され入会を勧められました。

全く登山に縁が無く体力にも自信なく疑心暗鬼の思いで入会してこまくさハイキングクラブの人達に恵まれ、又新人教育・体力の増進・登山用具のそろい方など、幅広く指導を頂き今日に至っています。

現在、Bランクこまくさ規定5時間の山を登る迄になりました。地元、四街道市役所主催のウォーキングに最近参加、街の中を歩くことも身近で健康増進も大切ですが緑に豊かな大自然の中で登山むかし道の様な、無理のない山行も一般の人達に知ってもらって広め会員増を計ることを必要と思われれます。

自然環境委員(千葉こまくさハイキングクラブ) 記・外山健太

県連代表者会議に参加して

東葛山の会 安彦 秀夫

【期日】 2011年9月10～11日

【参加者】 約40名？（男性多数、女性5名）

船橋県民の森『さざんかの家』で開催された、県連に加盟している各会の代表者会議に出席する機会がありました。

我が会からは、高見会長、手塚山行部長、木村会報部長そして私（副会長）の4名が参加し、高見さんと私は、会議終了後の懇親会にも参加し、各会の役員の方々と、各会が抱えている悩み・問題点・抱負等について意見を交わすことができ、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。このような機会を準備していただきました役員の方々に感謝します。

会議及び懇親会の場で話し合われた中で、関心度の高い2テーマについて、私の独断と偏見に満ちた考え・思いを述べさせていただきます。

1 各会で抱える課題の解決策は…

参加した各会から、現在抱えている問題点等を中心に報告がありました。

『会員の高年齢化』については、我が会も例外ではなく、『どのようにして若い人の入会を進め、技術の継承をしていくか』ということに関しては、大いに考えさせられました。

良い妙案があれば直ぐにでも実行に移していきたいのですが…。

そんな中、『ホームページ編集内容』についての意見には、面白い視点・考え方がな…と思うところがありました。早速検討してみたいなあ～と思いました。（とは言っても、私はホームページ編集というようなことは全くできませんので、管理人にアイデアとして強く提言したいと思えます。）

その内容は、『この会に入り、多くの仲間と一緒に色々な山に行き、私はこんなに楽しく有意義な時間を過ごしているんですよ！』というような、会員個人側からの意見・感想等を前面に出して編集したら、ホームページを見た人は、そんなに楽しいなら私も参加してみようかな…と思うのではないだろうか…というようなことだったと思えます。

従来 of 堅苦しい連絡事項の案内・回覧板ではなく、会員の立場・目線に立った主観的な内容にしたら反響があるのではないだろうか…と考えさせられました。

また、『リーダー不足』については、レベルはともかく、自分で企画立案し関係方面への問合せ・調査を進め、この山行は私（私達）が準備するんだ…という気持ちを持って会山行に関与して行くよう、我が会では、月2回実施する会山行の世話役（リーダー、複数名）を順番性にして、会員全員が参画するようにしています。

『山に連れて行く、連れて行ってもらう』ではなく、『山と一緒に行く』という意識で、会員お互いが山行を実践していくことによって、解決の方向性は見えてくるのではないのでしょうか？（但し、これは、ハイキング、縦走での話ですが…）

これまでは、旅行社主催のツアー等に参加して山に行っていた会員も、自ら会山行の世話役（リーダー）を担うことにより、進んで個人山行も計画していけるようになっていきます。

2 ジャンル別ネットワーク構築

『ジャンル別って、何?』と思う、多くの会員もいることと思います。

それは…、一概に山登りと言っても、『私は岩が好き!』、『いや、沢が素敵よ!』、『待ってよ、私は縦走が良いなあ!』、『スキーが良いんじゃない!』、『お花を見ながらのんびり歩き、温泉に入れたら最高!』、『冬は絶対、アイスクライミングやバリエーションだね!』等と、会を構成する会員一人ひとりの求める山行スタイル・志向が異なると思います。この異なるスタイル・志向を『ジャンル』と呼んでも良いのではないのでしょうか?

このように多くの異なる志向を、『会』単独の中で満足・達成させるためには、限界があると思います。各種多様な山行スタイルを実践している各『会』の集合体としての『県連』と言う大きな単位で考え、前向きに多くの異なるニーズに応じて行こうという発想から出てきた『ジャンル別ネットワーク』と、私は捉えています。

ネットワークを構築するためには、大義明文が必要かと思いますが、あまりにも形式を重んじるばかりに、前へ進めないということが往々にしてありがちではないでしょうか。

そこで、私は敢えて提案させていただきます。

『縦走・ピークハント』の分野をメインにした県連の中での横断的なネットワークを立ち上げたいと思います(一種の勝手連かな?)。

『なぜ、唐突に立ち上げるの?』という疑問を持つ会員もいるかと思いますが、これは、これまでの私が全国を歩いた経験の中で、いつも思っていたことから来ています。

『ピークハンター』の私には、『多くの色々な山に行きたい』という願望があります。その計画を立てる際の情報収集は、以前はガイドブック、新聞、テレビ、雑誌などで、非常に限られたもので満足・納得のいくものではありませんでした。現地に行ってから更に情報を集めて、なんとか目的の山に辿り着く…ということもしばしばでした(それはそれで楽しい時もありますが…)。

現在は、インターネットでかなりの情報を得ることはできますが、ズバリ!という情報に辿り着くということはなかなかありませんでした。例えば、情報の時期が古いとか、私の考えているコースでは無いとか、季節が異なるとか…でした。イマイチ物足りなさを感じていました。そんな時、身近にいる県連の仲間と情報の交換ができたなら、それも最新の生の情報を共有できたらなあ〜と、常々思っていたところでした。

『この山に行きたいんだけど、私(私達)だけではチョッと無理なのは…』や『この山に行く計画なので、アドヴァイスを欲しいが…』といったような思い・考えを持っている会員は数多いと思います。

『会独自では難しいが、行きたい…』という欲求の受け皿の一つになれば良いなあ…と思い、また、お互いが欲しい情報を得るため、そして、私のこれまでの経験を広めるため、楽しみ・苦しみを分かち合う仲間を増やすため、『縦走・ピークハント』志向の会員のターミナルステーションになろうかな…と思います。

私は、決して『藪山』が好きなのではありません。しかし、色々な山に登ろうとした時、藪を避けて通れない場合もあります。そんな時、藪だからといってその山を敬遠する気持ちにはなれないのです。ガイドブック等に掲載されている山は、なにかしら魅力・セールスポイントがあるからこそ、紹介されているのだと思います。その何かを知りたくて、味わいたくて、私はその山に行きたいのです。

『〇〇名山』、『××の山』、『温泉と△△の山』、『花と〇〇の山』、『ふるさとの××山』、『日本の高峰△△』、『低山俳諧』、『各地のこだわりスポット』……
山の行き帰りには、その土地の名所旧跡は勿論のこと、『えっ、何、これ?』というようなスポットにも足を伸ばしてみたいのです。



さざんかの家・・・1
真剣な? 討議が続きます。



さざんかの家・・・2
そろそろ、交流会にしては?

お知らせ

縦走・ピークハントネットワーク を立ち上げませんか?
会の枠を越えた会員の横断的なつながりを持ちませんか?
関心のある方のご連絡をお待ちしています

まずは、一報を待っています。

連絡先

安彦 秀夫 (東葛山の会 mt_25hm_abichan@ybb.ne.jp)

まずは、メールの交換から。

問合せ先

千葉県連盟ホームページ 事務局への問合せまで

<リレー・エッセー>

宿から宿へゆっくり山行

白馬鑓温泉～天狗山荘～不帰の嶮～唐松岳頂上山荘

ハイキング委員長
桑原 年一

【山行日】2011年8月11日(木)～14日(日) 三泊四日 車利用

【参加者】2名

かねてから後立山連峰の鑓ヶ岳分岐から不帰の嶮・唐松岳の間が残っていたので何とか繋げたいと思っていたが、思い立って行く事にした。

何せ老人2人なので無理せず、最悪は山小屋から山小屋泊まりで行く事にする。

一日目は早朝車で更埴JCTから豊科ICのコースをとり、八方スキー場P3(無料)に置き、タクシーで猿倉へ、準備して猿倉登山口10:30出発。

天気は上々だったので小日向の科尔までは花をめでたり、景色を観たり、のんびりと行くが、下って雪溪箇所に着くと今年は雪解けが早いせいか最短ルートが割れていてずっと下を大回りしてのルートに変わっていて、それが三か所もあり時間を大幅にロスしてしまった。

予定より一時間遅れで温泉に着きくつろぐことが出来た。

だが、遅く着いたのと、本日稜線は強風と霧雨とで不帰の嶮は通行自粛とかで諦めて続々と下山してきた人たちで、ほとんど満杯状態で出入口の下で我慢したが、遅くまで引き戸の開閉の音に悩まされた。

二日目は寝不足状態で出発。大出原まではお花畑など観て、順調だったが、急登になり徐々に歩調がにぶり、鑓ヶ岳尾根分岐までに時間オーバー、稜線は昨日と変わらず強風で飛ばされそう、くぼみで大休止。視界は上々なので景色を観ながらゆっくり歩き天狗山荘に到着。無理すれば先に行ける時間だったが、「今日は朝から強風で時間的にもお勧め出来ない」とのオーナーの言で即刻中止と決めてゆっくり休養する事にする。天狗山荘は初めてだが、こじんまりしていて、部屋もきれい、料理も上々快適な山荘でした。

三日目はいよいよ本番、「不帰の嶮」に挑戦です。天狗の頭までは霧の中だったが大下りに差し掛かった頃から徐々に霧が晴れてキレットから先の岩峰まで見えてきた。気を引き締めて岩稜に取りつく、中々手強い、時間を掛けて慎重に進む。I峰を過ぎ登下降を繰り返して「ここはII峰北」の小さな標識のある平地に飛び出して、やれやれと一息入れる。

次の「第Ⅱ峰南」までの難関も何とかクリアして、そこで大休止する。そこからは唐松岳はまだ見えない、回り込み、回り込みを繰り返してやっと、山頂にたどり着きようやくほっとする。

山頂は今までの静けさと違い、いきなり喧噪の世界に変る。満杯状態の山頂を降り、唐松岳頂上山荘到着。本日も無理したら八方尾根を降る事は出来るが山荘に草鞋を脱ぐ事にした。ここも土曜日とあって混雑していたが早かったので良い部屋が取れてゆっくりと夕日に映る山々を堪能できた。

四日目は八方尾根を降り、駐車場から帰るのみ、三日分の汗を流し、腹ごしらえしてお盆で渋滞していたが無事に帰ることが出来た。

ハイキング委員 桑原年一(記)

「ちばニュース」(機関紙委員会)からのお願い

- ◆ 「ちばニュース」は千葉県連盟の機関紙です。
現在は、前月の20日が原稿締切り、当月の10日付発行です。
本来は、月初めの発行が望ましいと思います。(20日に原稿が集まらない)
- ◆ 「ちばニュース」の発行元は機関紙委員会です。
昨年までは、事務局内の機関紙部が発行元でした
今年度から機関紙発行は機関紙委員会になりました。
早急に機関紙委員会の確立が必要です。(機関紙委員は0です)
- ◆ 機関紙委員会活動の中心は、
 - ・ 「ちばニュース」の発行。
 - ・ 各会の、会報担当者間の情報交換・交流の取組みの実施。
 - ・ ちばニュース発行の基本構想を確認する。
- ◆ 「ちばニュース」への投稿のお願い。
 - ・ サイズ：A-4 余白：上下左右 25 文字の大きさ：12
原稿の字数などに配慮して、文字の大きさ・余白などを変えない事。
 - ・ 思い出の山行・なつかしい山・こだわりの山・会山行の紹介など、写真を添付をお願いします。

「ちばニュース」は県連名の情報誌です。全国・県連盟行事の紹介、会行事等をお知らせしたいと思います。ご協力をおねがいします。

ちばニュース編集人 広木国昭

第18回 全国ハイキング交流集会 報告

ハイキング委員長
桑原 年一

【日程】 2011年9月17日（土）～18日（日）一泊二日

【場所】 伊豆長岡 「おおどり荘」

【参加者】 113名（全国33会、全国スタッフ、静岡スタッフ）千葉県連2名

17日（土）晴のち雷雨

13:00 開会（大会議室）石川ハイキング委員長・静岡県連 武本理事長
の挨拶から始まり、次に石川氏の基調報告

「ハイキング文化を次世代に引き継ぐためにいま何をなすべきか」

次に特別報告

「全国で発展するウォーキング協議会の取組」と題して

新日本スポーツ連盟・ウォーキング協議会 吉越悦子氏の結成から今日の歩みと特典、等からホームページの利用方法に入り、後半は体験①マイキャビの中に入ってみよう！ ②スカイプで話してみよう！の実技に入り、私達はチンプンカンプンで話に入れませんでした、有意義でした。

15:50 から分科会に分かれて移動。

- ① 「会員拡大と後継者育成」 石川友好・吉田敬
- ② 「事故防止・リーダー養成と会員教育」 田上千俊
- ③ 「会運営と楽しい企画の立て方」 伊藤正勝・河合依代
- ④ 「ホームページの作り方と活用法」 塩沢義男・佐藤久子・助言者 大附雅伸

私達は③分科会に参加しました。最初に各会の現状報告28名、問題点等を出し合い、明日の議題として解散。交流会に移り盛大に終わりました。

18日（日）快晴

前日の課題・車の利用方法、リーダーの養成、役員の決め方、会の企画、会員を止めさせない方法、で討議しました。詳細は全国の登山時報等で報告がありますので割愛します。最後に総括で終了。

終わって有志数十名でオプションハイク・「城山(342.2m)～発端丈山(410.0m)登山口に移動して12:50～16:30 三津浜バス停までを歩いてきました。

天気は快晴で山頂では富士山を初め、360°の眺望を楽しむ事が出来た。

バスでホテルに帰り遅くなったので連泊をお願いしたが満杯で断られ、探してもらい「弘法の湯」に一泊する。番外です。

19日（月祭）晴時々霧

今日は2人だけで「達磨山・金冠山」山行を楽しみました。

戸田峠まで移動、（途中達磨山レストハウス展望台で最後の富士山を眺める）

駐車場9:35出発～達磨山10:45/55～駐車場11:50着～金冠山12:10/30～

駐車場12:45着 途中渋滞に逢いましたが無事に帰宅しました。

全国ハイキングリーダー学校とハイキング交流集会と交互に開催していますが中身は同じ様な勉強会ですので我々老体でなく、向学心の旺盛の諸氏に出席して戴きたく節にお願いする次第です。

ハイキング委員長 桑原年一（記）



地元・静岡の仲間、参加者との交流会



一生懸命勉強して来ました

☆☆☆ お願い ☆☆☆

全国連盟の実施している、ハイキングリーダー学校・ハイキング交流集会があります。毎年、桑原ハイキング委員長に参加していただいています。

桑原委員長の報告にもありますように、新しい参加者を募集しています。

各会よりの参加をお願いします。

登山時報購読のお願い

登山時報は、全国連盟の機関紙です。

内容は、全国総会・評議会報告、各種行事案内などが、カラー写真入りで掲載されています。現在の人気ページは、山岳レスキューの第一人者「恵秀彦」先生（日本山岳レスキュー協議会）「山のファーストエイド」です。

このページを毎月読んで学習すれば、専門書を購入した以上の成果がある。

各会には毎月1部が送られています。購読0の会が8会あります。

千葉県連盟では21会（756人）で102部の購読があります。各会で、1部でも2部でも拡大をお願いします。また、購読0の会には1部の購読をお願いします。

2011年度 第四回ハイキング委員会

2011年9月14日

ハイキング委員長
桑原 年一

【日時】9月13日 県連事務所

【出席者】桑原、佐川、八巻、大田、天野、川上、中原、吉沢、高見、佐藤 10名

【議題】

- 1、第15回 平日山行 玉原高原（湿原～尼ヶ禿山）
リベンジ 2012年5月10日(木)に催行決定。
本年は代わりにボランティア支援活動に参加。
- 2、第28回 ロングハイキング実施決定
 - ・月日 2011年12月04日(日)～05日(月)に決定。 募集
 - ・山域 追原～四朗治～東大演習林～黒滝コース（詳細は別紙）
 - ・締切 11月14日(月)
 - ・講演 講演者次回までに決定して願います。
 - ・スタッフ 次回決定
 - ・東葛地区 前日山行（中型バス1台）「養老溪谷～栗又の滝」散策に決定
- 3、ちばニュースへの掲載引き続き行う事にする。タイトル（山への想い）雑感
 - ・原稿掲載の順番
 - ・10月桑原、以降は隔月にするか検討（自然保護と相談して交互にする）
 - ・次回決定

前月の20日までに「ちばニュース」 newstoukou@cwaf.jp まで願います。

【その他】

- 1) 第18回全国ハイキング交流集会 桑原2名参加
実施日：2011年9月17日(土)～18日(日)
会場：伊豆長岡「おおとり荘」 費用：13,000円（一泊二食）
- 2) 「2011事故防止・経験交流集会」11月12日(土)13日(日)さざんかの家
参加をお願いします。参加費：500円
- 3) ボランティア支援隊 10月、11月続行・12月・1月は休援・2月から続行予定。
- 4) ふれあいハイキング打合せ報告
実施日：2012年5月20日(日) バス3台 内 車いす6～7台
行き先：丹沢山系 / 弘法山

大勢の参加をお願いします。

次回委員会 2011年11月15日(火) 19:00～ 県連事務所

第28回房総ロングハイキング（紅葉ハイク）のお知らせ

ハイキング委員長
桑原 年一

【主催】千葉県勤労者山岳連盟・ハイキング委員会

【日時】2011年12月4日（日）～12月5日（月）（1泊2日）

【集合】七里川温泉：沖津屋 4日（日） 17時20分集合
5日（月） 6時30分集合

（当日参加可）

沖津屋：君津市黄和田畑921-1 電話0439-39-3211
フリーダイヤル0120-397-428

【コース】七里川温泉脇～県道市原市天津小湊線～吊り橋～川台歩道～大櫓歩道
～四郎治林歩道～四郎治林道～橋の沢林道～郷台林道～郷台作業所～
柚ノ木歩道下～猪ノ川林道～黒滝～折木沢

【募集人数】約60人

【参加費】6,000円（一泊二食・弁当・移動費）

当日参加 1,000円（弁当・移動費）

【締切】11月14日（月）各会責任者に申し込む事

・千葉の最高の紅葉ハイクを楽しむ

前日は、七里川温泉の露天風呂などでゆっくり過ごして戴き、次の日は温泉から、七里川の紅葉を見ながら歩き吊り橋を渡り、追原の大櫓を経て四郎治林歩道～四郎治林道～（モミの巨木を見る）～橋ノ沢林道～郷台作業所の見学をしてから猪ノ川林道の紅葉を見ながら長崎十字路までのロングハイキングです。

・直接電車で参加の方（千葉発 12：39）

・往路電車利用者 久留里線・木更津発 13：39～上総亀山着 14：42
" 15：35～ " 16：40

上記着の時刻に合わせて送迎車が出ます。

・自家用車利用者 直接七里川温泉に来てください。駐車スペース10台位あり
（出来ればJRでお願いします）

・行動予定

12月4日（日） 15：30～ 受付開始
17：30～ 挨拶、特別講演、ガイダンス（日程・コース説明）
18：30～ 夕食、交流会、就寝
12月5日（月） 6：00 起床
6：30 朝食（弁当を受取る・食事は自由）
7：00 ロングハイク出発（当日参加者は時間厳守）

15:00 長崎十字路ゴール 後亀山駅・駐車場に送る。

・復路電車時刻	上総亀山駅発	16:01	木更津駅着	17:05
	〃	16:56	〃	18:06
	〃	18:00	〃	19:06

尚、東葛地区（東葛・松戸・柏・我孫子）はバスを利用して、下記の如く前日に山行してから集合地（七里川温泉）に行くことにしました。

参加費 10,000円（バス代、1泊2食、弁当代）

- ・1日目（4日）バス・松戸発 6:30～我孫子駅～鎌ヶ谷市役所 8:00発
（参加人数により変更あり）
山行 「養老溪谷～栗又の滝」（紅葉鑑賞）歩行 約3時間40分
- ・2日目（5日） 全体山行

・申込み問合せ連絡先 実行委員長 中原 紀代治(ふわくハイキングサークル)
TEL・FAX 0475-34-4757

千葉県連名は、ふるさと房総 の自然を知る・楽しむ・守る・活動に取り組んでいます。その中心になって活動を支えているのが、ハイキング委員会とふわくハイキングサークルです。

「房総ロングハイク」は、ハイキング委員会が全力を上げて取り組んでいます。この取り組みは、ハイキング委員長が命をかけて取り組んでいる歴史ある取り組みです。

また、年明けには11回を迎える「房総郡界尾根縦走」があります。これは、ふわくハイキングサークルの有志がライフワークとして実施しています。鋸山から清澄山まで、房総の屋根を3日間かけて踏破する壮大な取り組みです。

この二つ取り組みが、28回・11回も続いているのは、地元「ふわくハイキングサークル」の皆さんの「ふるさと房総」への想いがあります。

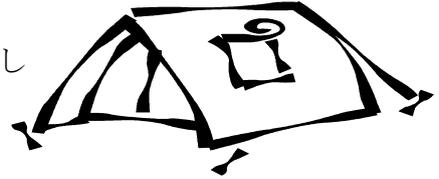
千葉県連盟は、七里川を守る「追原ダム建設反対」「鬼泪山の国有林を守る」運動に取り組んできました。これらの運動に勝利することが出来た事は、「ふわくハイキングサークル」の力強いバックアップがあったからです。

編集委員会

「2011 事故防止・経験交流集会」の案内

千葉県連盟・教育遭難対策委員会

残念ながら本年も当連盟内で、深刻な遭難事故が多発しています。従来に増して各会での事故防止へ向けての対策を強化する必要が有ります。



09年よりの本集会取り組みを更に活かしたく、引き続き「事故防止・経験交流集会」を行います。

併せ本年は国土地理院の出前講習を依頼しており、また各会交流並びにセルフレスキュー(自己救助)訓練も行いますので、各会員の積極的な参加を期待します。

【主催】千葉県連盟・教育遭難対策委員会／救助隊

【日時/場所】 11 / 12 (土) 12:00 開始 - 13 (日) 12:00 終了
船橋県民の森 さざんかの家 (宿泊研修棟)

【実施内容】

12日・机上講習「読図から測る」「地図から読む」

講師 国土地理院：佐藤 勝 氏 12:05～14:45

・各会よりの報告 10 団体 (予定)

未発表会及び重大事故発生会を中心に要請する。

松戸山の会 船橋勤労者山の会 君津ケルン山の会

ACT 峰友 岳人あびこ 茂原道標山の会

成田ラテルネ山の会 千葉こまくさハイキングクラブ

山を歩こう会 松戸遠足クラブ 1年さくら組

報告 10 分 + 質疑 5 分 15:00～17:30

・各会紹介／交流会 18:00～

13日・セルフレスキュー訓練 県連救助隊 8:15～11:45

一般ハイキングG向け＜搬出法他＞

バリエーションG向け＜懸垂下降の標準化＞

【参加費】 参加費 500 円 / 人。交通は各会毎又は個人にて。駐車場有り。
尚、単日での参加も可。地図は別途配付。

【装備/食事/装備 (宿泊用)】 シュラフ ヘッドランプ 食器。セルフレスキュー訓練
装備は追って案内。食事/飲み物は各会毎。

【参加申込】 遭対委員会 青山へ 10/31 までに。 htrkt490@ybb.ne.jp

【締切】 申込書は追って mail で送付。

【問い合わせ先】 遭対委員会岡田：ken-ichi@f4.dion.ne.jp 080-4197-7700

第5回ワンコイン講習会

主催 千葉県連盟女性委員会

体に優しい トレーニング

楽しく学ぶ・正しく学ぶ

実施日 H23年11月27日(日) 13時~16時

場所 市川市文化会館(JR総武線 本八幡駅下車)

参加費 ワンコイン(500円)

問い合わせ先:千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ事務局への問い合わせまで

講師紹介

「鳥越 章夫」先生(全国連盟遭難対策部所属)
バランス講習会で全国的に好評を得ています。山行では「バランス感覚」が特に重要です。残念ながら「バランス感覚」は急激に衰えます。特に、高齢者は体力の衰えより、バランス感覚が先に衰えます。鳥越先生は、豊富な経験で千葉県連盟・全女性の期待に応えてくれます。

ワンコイン講習会とは

女性委員会は、いつまでも山に行ける体力を維持するための

「実技講習会」を行なっています。

楽しく学ぶ・正しく学ぶ を目標に、実施しています。

大勢の参加をお待ちしています。特に男性の参加を歓迎します。

災害支援千葉県連盟のこれまでの取組み

千葉県連盟 理事長 吉田 哲治

陣	日程	場所	参加会	人数	活動内容
1	4/7～ 10	気仙沼	ちば山の会	10	
2	4/8(夜) ～11	気仙沼、 石巻(立町)	ACT 峰友、山の会岳樺クラブ、君津ケルン山の会、松戸山の会、ふわくハイキングサークル、東葛山の会、松戸遠足クラブ さくら組、船橋勤労者山の会	25	気仙沼:同上 石巻:繁華街道路のヘド 口除去 :被災個人宅家財道具搬 出
3	4/15～ 18	気仙沼	船橋勤労者山の会、ちば山の会	12	被災個人宅家財道具搬出
4	4/28 (夜) ～5/1	気仙沼	船橋勤労者山の会、松戸山の会、ふわくハイキングサークル、 東葛山の会、かがりび山の会、山の会らんたん、山の会岳樺 クラブ、千葉こまくさハイキングクラブ、松戸遠足クラブさくら 組、会員外	50	被災個人宅家財道具搬 出・移動 被災個人宅内部清掃、床 下のヘドロ出し
5	5/3～8	気仙沼	ちば山の会、船橋勤労者山の会	14	同上、海岸清掃
6	5/13 (夜) ～16	石巻(門脇)	船橋勤労者山の会、松戸山の会、シリウス山の会、ACT 峰 友、山の会岳樺クラブ、会員外	13	ビニールハウス内のがれ き撤去・土砂除去 宮城県連・石巻労山との 交流
7	5/19 (夜) ～22	石巻(門脇)	船橋勤労者山の会、会員外	6	ビニールハウス内のがれ き撤去・土砂除去
8	5/20 (夜) ～22	気仙沼	かがりび山の会	11	海岸清掃
9	5/26 (夜) ～29	石巻(大街道)	東葛山の会	5	ビニールハウス内のがれ き撤去・土砂除去
10	6/3(夜) ～5	石巻(渡波)	船橋勤労者山の会、松戸山の会、山の会らんたん、ふわくハ イキングサークル	6	ビニールハウス内のがれ き撤去・土砂除去
11	6/17 (夜) ～19	石巻(門脇) 東松島 (大曲)	船橋勤労者山の会、松戸山の会、ちば山の会、 ふわくハイキングサークル、東葛山の会、君津ケルン山の会、 山の会らんたん、山の会岳樺クラブ、千葉こまくさハイキング	52	ビニールハウス内のがれ き撤去・土砂除去

			ラブ、成田ラテルネ山の会、岳人あびこ、茂原道標山の会、山の会岳樺クラブ、会員外		
12	7/1(夜) ~3	石巻(北上)	船橋勤労者山の会、松戸山の会、ちば山の会、ACT 峰友、シリウス山の会	15	田んぼのがれき撤去
13	7/15 (夜) ~18	石巻(北上)	船橋勤労者山の会、松戸山の会、ちば山の会、ACT 峰友、ふわくハイキングサークル、東葛山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、成田ラテルネ山の会、岳人あびこ、山の会らんとん、かがりび山の会、山の会岳樺クラブ	34	田んぼのがれき撤去
14	8/5(夜) ~7	東松島	船橋勤労者山の会、会員外	11	ビニールハウス内のがれき撤去・土砂除去
15	9/16 (夜) ~19	石巻(牡鹿)	船橋勤労者山の会、ちば山の会、ふわくハイキングサークル、東葛山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、山の会らんとん、かがりび山の会、君津ケルン山の会、会員外	25	草地、小川のがれき撤去

東日本大震災支援活動の今後について

東日本大震災支援活動については、宮城県石巻市に関東ブロックをはじめ近畿、京都、石川県連から継続的に支援隊が入っています。

この大部隊には石巻労山の岡さんが、作業場所の選択から宿泊施設の確保等まで全て引受けてくれています。作業現場の指揮采配は、吉田理事長が一手に引受けています。千葉県連盟以外の支援者からの信頼も大きく、現地でも本職と間違われる位に機械操作も上達しています。

今後の支援活動についてお知らせします。

休み明けの、9月から11月は従来通り「第1・第2・土日」を行動日とします。12月・1月、年末年始休みとします。2月・3月は「月1回」とし現地と相談して決めていきます。

支援活動は、支援する側と受け入れ側の協力体制が大切です。これまでの支援活動で築いた、被災地の人々と支援活動に参加した人々の信頼関係を大事にしていきたいと思います。

3月で1年になる被災地に対し、息の長い新たな活動を模索したいと思います。千葉県連盟の皆さんの支援活動は、関東ブロック・全国の仲間に発信されました。この支援活動は、千葉県連盟にとっても有意義な活道であると思います。これだけの参加者数があったこと、何よりも、被災地に対する気持ちをひとつに出来たこと、各会・参加者が信頼しあえたことは、何よりの成果だとも思います。

支援活動は、規模は小さくなって行かざるを得ません。新たに息の長い支援活動を見つけていきたいと思います。引き続きご支援をお願いします。

全国震災対策部 広木 国昭

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX: 043-306-1190
Eメール: rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
newstoukou@cwaf.jp
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax: 043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東北関東大震災・支援金振込み先
口座番号: ゆうちょ銀行
00130-7-595190
加入者名 佐藤 勝子
〒272-0023
市川市南八幡 1-25-16

事務局のお手伝いを募集しています。

事務所の片付け・資料の整理などを、空いた時間でお手伝い下さい。一人でもお友達と一緒にでも大歓迎です。

連絡は: 広木まで・連絡先

県連盟よりのお願い

9月10日(土)に、会代表者・県連理事の合同会議がありました。会の枠を超えて、ジャンル別の横つなりの活動が実現しそうです。

多くの会からの。参加協力をお願いします。

11月12日(土)には、事故防止交流集会が実施されます。今年も重大事故が発生しています。会役員意外の参加を歓迎します。

問合せ: 岡田 賢一 教遭委員長
ken-ichi@f4.dion.ne.jp

支援 Tシャツ について

ご協力をいただいているTシャツは引き続き販売しています。

・10月からの申し込みは、全国連盟事務局に直接申し込みをお願いします。

申し込み方法

申し込み用紙に、サイズ・色枚数を記入して全国連盟事務局に送ってください。

全国事務局(担当者: 川嶋事務局長)

Eメール jwaf@jwaf.jp

電話 03・3260・6331

Fax 03・3235・4324

問い合わせは 広木まで

Eメール

danphiro@zpost.plala.or.jp

090-8316-2020

県 連 活 動 予 定 表

10月		予 定	11月		予 定
1	土	大震災支援活動	1	火	役員会
2	日		2	水	
3	月		3	木	全国評議会（全国事務所）
4	火		4	金	
5	水		5	土	大震災支援活動
6	木		6	日	
7	金		7	月	
8	土		8	火	
9	日		9	水	
10	月		10	木	
11	火	役員会	11	金	事故防止交流集会（さざんかの家）
12	水		12	土	
13	木	理事会	13	日	
14	金		14	月	
15	土	45周年記念トレッキング出発	15	火	
16	日	（大震災支援活動）	16	水	
17	月		17	木	理事会
18	火		18	金	
19	水		19	土	大震災支援活動
20	木		20	日	
21	金		21	月	女性委員会17時・救助隊例会19時
22	土		22	火	
23	日		23	水	
24	月	救助隊例会・トレッキング帰国	24	木	拡大検討部会
25	火		25	金	
26	水		26	土	
27	木		27	日	ワンコイン講習会（市川文化会館）
28	金		28	月	
29	土	トレッキングB隊帰国	29	火	
30	日		30	水	
31	月				

発行：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス101号

TEL・FAX：043-306-1190

発行責任者：吉田 哲治 編集者：広木 国昭